

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	未来に向けた関・矢立地区の持続可能な国土開発事業
対象地域	刈田郡七ヶ宿町 関・矢立地区
活動概要	<p>長い歴史の中、宿場町として栄えてきた七ヶ宿町。しかし車という移動手段の登場で旅のスピードが速まり、宿場町は単なる通過点と変わっていった。やがて宿場町は宮城県民の183万人の水源地として水源地という新たな役割を担い現在に至っている。しかし、主たる産業のないこの町は宮城県内でも突出した急激な高齢化・過疎化にみまわれている。世界中が気候変動にあえぎ解決策を見出せない中で、里山には自然と人が上手につき合うらしの知恵が多く残る。持続可能な社会実現のためにはこの里山に生きる知恵と豊かな国土を次の時代につないでいくことが必要不可欠である。この事業はこの地区の自然と施設を活用し、高齢者から生きた知恵を学び次の時代につなげていくものである。故郷を持たない都市住民と水源地の水守人達が、水という関わりの中で交流し行動することによって新たな担い手が将来にわたり国土を健全に引き継いでいく。</p> <p>参考 七ヶ宿町の人口と高齢化率  人口 : H10.5.1 2,190人 H19.5.1 1,900人  高齢化率 : H19.5.1 34.24% H19.5.1 41.37%</p>
今年度の主な取組	<p>①実施ルート・エリアの検討及び調査  新たな地域資源の発掘と住民の生活環境に配慮したウォーキングコース作りを行うため、地区住民へのヒアリング、ルート調査、検討、協議等を実施する。</p> <p>②コースの整備  地域住民と協働で作業を行いつくりながら考える手法でウォーキングコース整備を行う。</p> <p>③事業の広報のための準備  事業実施にあたり広くこの事業を告知するため、コースのガイドマップの編集・印刷、案内板・案内表示の製作を行う。</p> <p>④既存施設の活用  既存施設を学び利用する場として活用するため、既存施設の調査、利用ルールの検討、パネル等の設置を行う。</p> <p>⑤担い手育成  協働による地域文化の伝承と未来に向けた人材育成のために、ワークショップや講座の開催、高齢者の知恵の伝授を行う。</p> <p>⑥オープニングイベントの実施  コース完成を記念して、オープニングイベントを開催する。</p> <p>⑦意見交換会の開催  持続可能な開発のための意識を共有するため、意見交換会を開催し、振り返りと次年度に向けた方向性の検討を行う。</p>

活動結果	<p>高齢化・過疎化の進む町ではコミュニティの元となる人のパイが不足しているということがはっきりしたということがあげられる。コミュニティ不足イコール集落維持の限界と簡単に片付けることは出来ないが、集落を維持していくためにはある程度の人口規模が必要である。</p> <p>また、事業を行ったことで近隣の地域がそれぞれ連携を求めていることを知ることもつながった。今後は地域全体が活性していくために足りないものを補いあいながら連携していくことを約束しあった。</p> <p>これとは逆に個人の存在感が失われつつある都市部では、目に見える暮らし方を求める人が増え始めている。こうした人々に対して具体的に学びの場を提供する機会が乏しいことも事実である。</p> <p>先人達の知恵を伝える人たちも高齢化してきており、本事業における担い手育成という学びあいの中でも、たくさんのコミュニティが創生された。教える、習うという関係ではなく、協働の中で学ぶという形がそうさせたといえる。</p>
当初予想していなかった効果	<p>個人の持つネットワークが予想以上に多彩且つ豊富であったということ。誰もが現代社会をコミュニティ不足と認識しており想定以上の人たちがおもしろがってこの事業に参画してくれた。要因としてあげられるのは、この事業には終わりも枠もなく常に未来に向かって開いているという意識が共有できた事にある。</p> <p>調査の段階また事業開始以降、当初想定していなかった場所に遊びの要素が見つかったこともあげられる。カヌーによる水深調査や水中生物の観察が目的であった調査が、結果的には湿原での遊びにまで発展した。このことによりオープニングイベントではたくさんの子供達が湖面にカヌーを漕ぎ出し秋の自然を味わうことにつながった。</p> <p>また、担い手育成事業において実施した活動報告の中で、自然界に与える炭の効果を示されたことにより、その後、県外からの参加者の活動地域に招かれたが、その地域で剪定された木材の有効利用を図るため移動式の炭窯により協働し炭焼きを行うまでに至っている。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真:左】「担い手育成」の実施状況(炭焼き体験のワークショップ)</p> <p>【写真:右】「オープニングイベント」の実施状況(ビオトープ型の散策路)</p>
応募団体名	特定非営利活動法人 水守の郷・七ヶ宿
リンク	
部局/担当者名	同法人 理事長(兼務事務局長) 海藤 節生
連絡先	TEL:0224-37-2171 E-mailアドレス: Setok3333@hotmail.com
推薦市町村名	七ヶ宿町